



阿久津 佳子 議員

にぎわい創生について

問 ①古河駅前・周辺再開発事業計画なしでは古河駅周辺の衰退は加速することが明らかである。常態的なにぎわい創出にはどのような事業が必要と考えるか。②市長所信表明の民間会社と包括的な連携協力によるまちづくり推進における中長期的ビジョン、具体的連携内容や事業展望について伺う。

答（市長） ②協力し進める中で

具体的な提案があるものと考えており、提案を踏まえ、検討していきたい。

答（企画政策部長） ①現在、古河マルシェの開催などイベントを中心としたソフト面の取り組みが中心であるが、立地特性を最大限に生かし、土地の高度利用を念頭に置いたハード整備の検討も必要と考えている。②今後、現行協定に基づく取り組みを進め、次のステップとして具体的な事業推進に係る新たな協力事項を盛り込み更新を目指していきたい。



再開発が望まれる古河駅前と周辺

選挙の投票に際する移動手段の確保について

問 移動手段が確保できない有権者（要介護者、高齢者や障がい者等）に対し、合理的配慮かつ先進事例を参考に公助として事業展開、方策が早急に必要と考える。今後の投票環境整備と制度設計について伺う。

答（選挙管理委員会書記長） 介護保険利用者、障がいのある方については、福祉部局と連携しながら検討していきたいと考えている。また、投票所に行きたくても移動手段の確保ができない有権者については、先進事例を参考に、古河市に合った制度設計をしていきたい。投票所についても、投票しやすい環境整備に努めたい。



落合 康之 議員

所信表明について

問 ①市長の所信表明「県西の発展を牽引する都市とするために」という件から、住友商事株式会社との包括的な連携協力の具体的な内容について問う。②古河駅東部土地区画整理事業大街区の進捗状況について、令和2年12月23日現在の状況を伺う。

答（市長） ①市のさまざまな課題に対して民間業者としての厳しい視点から助言いただけるば

かりでなく、事業進出の可能性等を模索していただけたらと考えている。

答（副市長） ②現在までに11事業者とヒアリングを実施した。事業者とヒアリングを継続し、条件のすり合わせを行いたい。



古河駅東部土地区画整理事業大街区

（再質問） ①連携協定について、古河駅東部土地区画整理事業に対して関心を持っていたため、住友商事株式会社が11業者の中に入ってきたのか。②古河駅東

部土地区画整理事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の終息が早いのか、新たな施設ができるのが早いのか、競争する勢いで事業を進めていただきたい。

答（市長） ①協定書に古河駅東部土地区画整理事業への参画を表明するものではないことを確認するという条文がある。古河駅東部土地区画整理事業とは切り離し、まち全体の部分について今後検証していただきたい。

答（副市長） ②事業者と対話を進めながら、できるだけ早期の処分に取り組んでいきたい。

《その他の質問》

- ・新型コロナウイルス対策について
- ・最高裁決定通知について